

2017. 7. 7
一般社団法人静岡県信用金庫協会

第43回県内12信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 御室 健一郎）は、平成17年10月以降、毎四半期ごとに県内12信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,176社にアンケート調査を実施し、1,170社から得た回答（有効回答率99.5%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感は横ばい、先行きはやや改善」

【概況】

平成29年4～6月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（平成29年1月～3月「以下同」）の▲8.7から▲8.5となり、景況感は横ばいとなった（以下「マイナス幅の縮小」を「改善」、「マイナス幅の拡大」を「悪化」という）。

業種別にみると、不動産業が16.5ポイント（▲1.1→15.5）、製造業が6.0ポイント（▲5.0→1.0）と大幅に改善しプラス化したものの、建設業が▲19.7ポイント（2.5→▲17.2）、サービス業が▲9.3ポイント（▲9.0→▲18.3）などで悪化がみられた。

これを地区別にみると、中部地区では改善したものの、西部地区は横ばい、東部地区では悪化となった（地区別の詳細は次頁のとおり）。なお、各地区とも依然として人手不足感は強いものとなっている。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2015年			2016年				2017年		
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9（見通し）
東部地区	▲24.5	▲21.6	▲18.7	▲21.5	▲25.6	▲19.0	▲13.0	▲18.8	▲20.7	▲11.6
中部地区	▲27.7	▲11.6	▲7.0	▲18.4	▲22.7	▲7.3	0.6	▲10.4	▲2.7	▲1.4
西部地区	▲17.0	▲13.6	▲11.8	▲14.0	▲17.1	▲16.5	▲9.6	▲2.9	▲3.0	▲5.3
県内計	▲20.5	▲15.8	▲13.5	▲16.9	▲20.4	▲15.8	▲9.2	▲8.7	▲8.5	▲6.8

なお、平成29年7～9月の業況見通しは、西部では▲2.3ポイント（▲3.0→▲5.3）と悪化見通しとしているものの、東部で9.1ポイント（▲20.7→▲11.6）、中部で1.3ポイント（▲2.7→▲1.4）改善見通しとしていることから、県全体では▲8.5から▲6.8へと、1.7ポイントの改善予想となっている。

■東部地区

東部では、不動産業が31.1ポイント（▲28.1⇒3.0）と大幅に改善しプラス化しているほか、卸売業6.5ポイント（▲32.3⇒▲25.8）、小売業3.1ポイント（▲36.8⇒▲33.7）と小幅改善しているものの、他の3業種が悪化（サービス業▲11.3⇒▲31.5、製造業▲4.9⇒▲11.9、建設業▲10.5⇒▲17.5）したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲18.8から▲20.7へと1.90ポイントの悪化となった。

製造業

業況は、独自の技術力を有している企業は受注安定しているところがあるが、紙パルプ関連・その他製造業においては売上の停滞・収益の減少などから全体的に悪化している。

今後の見通し（平成29年7～9月期・以下同）としては、販売価格・原材料価格の安定と現状の受注残を背景に業況改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・将来に向けた技術継承を随時行っていきたいが人材確保が困難。（その他製造業）
- ・技術系の高校・大学などと連携し、長期インターンシップ等の活用により、新技術の開発にも注力する必要がある。（冷水機・IHウォーマー）
- ・高い技術力により他社との差別化を図り大手取引先から安定した受注がある。（鉄鋼業）
- ・コンビニ向けのプラスチック容器の受注は順調。（プラスチック製品製造）

卸売業

業況は、売上・収益の増加により改善している。

今後の見通しとしては、業況悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・タイヤ価格の上昇に伴う駆け込み需要があったが、今後の影響を懸念している。（タイヤ卸）
- ・輸出向けの単価動向に仕入が大きく左右される。（製紙原料卸）
- ・現状維持が精一杯であり、事業の拡大等は考えていない。（食料品卸）
- ・小売業者の廃業や事業規模縮小、大型店の影響で業況も悪化している。（食料品卸）
- ・コンビニ業界の日用品雑貨の値下げの影響を危惧している。（日用品雑貨卸）

小売業

業況は、大型量販店の攻勢により厳しい状況であるが、価格より質へと消費者動向の変化もみられ、独自性を発揮している販売店もあることから、全体的には改善している。

今後の見通しとしては、夏季商戦における売上回復への期待感もあることから業況改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・大型店との競争が激化している。最近の傾向として価格よりも品質を求める消費者の動向が見受けられる。（紳士服・婦人服）
- ・新鮮な魚介類や惣菜の質により、大手スーパーとの差別化を図っている。（鮮魚等小売）
- ・不採算商品と売れ筋商品の見極めが重要になっている。（ミシン・エアコン）
- ・幹線道路沿いという立地であっても駐車場スペースの確保がないと困難。（青果・食料品）
- ・不採算部門を撤退し、売上は減少したが収益は改善した。（食料品小売）
- ・インターネットを利用した販路拡大を図る。（書籍・文房具）
- ・国内の古紙不足により仕入れ価格が上昇。独自の仕入れルートの確保が必要である。（再生資源卸）

サービス業

業況は、旅館業は季節的に売上減少する時期であるが、その他サービス業も目立った動きなく全体的には悪化し

ている。

今後の見通しとしては、旅館業では夏季のハイシーズンに向け固定顧客への営業等に努めていることから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・団体客の減少が見受けられる、また人手不足が恒常的に発生している。(旅館業)
- ・GW以降の宿泊客が対前年比で減少している。(旅館業)
- ・設備の老朽化が目立ってきているが、設備投資実施には慎重になっている。(旅館業)
- ・規制強化により利益計上が厳しい状況である。(パチンコ店)
- ・経営組織の見直しを検討している。(物品リース業)
- ・「富士山世界遺産センター」の集客増加を期待している。(旅客運送)

建設業

業況は、競争の激化による利幅の減少・人材の確保難から、売上・受注ともに低位で推移し、全体的には悪化している。

今後の見通しとしては、大手企業や首都圏からのオリンピックや新東名関連の受注増加への期待感から業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・業況は安定してきているが人材確保が恒常的な課題となっている(建設業)
- ・従業員の高齢化が進み、将来的な技術継承に不安を感じる(総合工事)
- ・老朽化した水道管の入替工事等、受注は多く見込んでいるが若手社員の確保が課題である。(管工事業)
- ・異業種とのコラボや提案型営業による受注確保が功を奏している。(建設業)
- ・官公庁に対しては都市計画の段階から参画し大型受注につなげている。(建設業)
- ・一般住宅よりアパートに係る受注が増加している。(設備工事)

不動産業

業況は、経常的に商品物件の不足あって同業者間の競争が激化しているものの、売上・収益ともに安定しており全体的には大幅に改善している。

今後の見通しとしては、商品物件の不足により業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・人手不足は否めないが、売上・収益ともに安定しており、積極的な事業展開を検討している。(不動産仲介)
- ・建売販売、分譲と低価格帯は好調、賃貸住宅は過剰気味。(建売・土地売買)
- ・新たな不動産が少なく、近隣の人口は減少傾向にある。(不動産業)

■中部地区

中部では、建設業が21.4ポイント(▲13.6⇒▲35.0)、サービス業が11.8ポイント(0.0⇒▲11.8)それぞれ悪化した。一方、不動産業が引き続きプラス(37.5⇒30.0)であるほか、製造業が20.8ポイント(▲8.8⇒11.9)と大幅に改善しプラス化、更に、他の業種(卸売業▲27.8⇒▲9.5、小売業▲26.3⇒▲15.0)も改善したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲10.4から▲2.7へと7.7ポイントの改善となった。

製造業

業況は原材料価格が大幅に上昇しているものの、同時に売上額・収益も増加しており、全体として業況は改善している。

今後の見通しとしては、引き続き原材料価格の上昇が見込まれているものの、売上・受注も増加が見込まれており、業況DIはプラスを維持する見込み。

(事業者の声)

- ・原材料が高騰している中でも売価に転嫁できており、収益は維持している。(水産加工業)

- ・受注は確定しているものの、作業スペースと人員が不足している。(金属製品製造業)
- ・人手不足によりロボット関連の受注が増加している。(産業用機械製造業)
- ・後継者不在につき、M&A等の提案を金融機関に期待している。(木製建具製造業)
- ・今後工場新設の計画があり、補助金の活用を検討している。(茶製造業)

卸売業

業況は、仕入価格の上昇がみられるものの、改善している。

今後の見通しとしては、依然として仕入れ価格の上昇は懸念されているものの、販売額の増加が期待されており、業況DIはプラス化し大幅な改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・仕入価格の上昇により、販売価格を見直していく。(水産物卸売業)
- ・取引先経営者及び自社従業員の高齢化への対応に苦慮している。(食料品卸売業)
- ・インターネットを活用した販路変更を模索している。(日用雑貨卸売業)
- ・魚価の高騰による収益性の悪化が懸念される。(マグロ卸売業)

小売業

業況は、売上額が増加しており、改善している。

今後の見通しとしては、販売価格の低下などにより収益の減少が懸念されており、悪化見込みとなっている。

(事業者の声)

- ・人材育成に力を入れ、従業員一人当たりの売上増加を図っている。(化粧品小売業)
- ・POSレジからの情報分析により売れ筋商品を把握し、売上増加に繋げている。(衣料品小売業)
- ・量販店の攻勢により業況は厳しいが、学校からの受注により増加が見込まれる。(スポーツ用品販売業)
- ・市場拡大を図るべく、新エリアへの出店、M&Aを検討している。(スーパー)

サービス業

業況は、材料価格が上昇しており、売上額も減少しているうえ、人手不足感が強く、悪化となっている。

今後の見通しとしても、売上額の増加・料金価格の上昇が見込まれているものの、それを上回る材料価格の上昇が懸念され、横ばいの見込みとなっている。

(事業者の声)

- ・材料価格が上昇傾向にあるが、販売価格への転嫁は難しい。(飲食業)
- ・人手不足が深刻であり、人材育成、人材確保が重要である。(自動車整備販売業)
- ・人員不足によりシフトを組むことが難しい。(清掃業)

建設業

業況は、売上額・施工高の大幅減少により収益も大幅に減少しており、大幅な悪化となっている。

今後の見通しとしては、未だ停滞気味であるものの、現状よりは売上高・施工高共に増加の見込であることから改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・材料費負担が増加傾向にあり、収益性は低下している。(土木建設業)
- ・民間工事の競争激化により業況は厳しい。(配管工事業)
- ・現場監督が不足しており、受注を増やしたくても増やせない状況にある。(総合建設業)
- ・人手不足と人材の高齢化のあおりを受けている。(土木建築業)
- ・業況推移は堅調であるも、競争激化による危機感が強く、今後M&Aなどによる業容拡大も視野に入れている。(総合建設業)

不動産業

業況は、仕入価格の下降・売上額の増加などにより収益性も上昇していることから、業況DIのプラスを継続

している。

今後の見通しとしても、売上や収益は現状維持が予想され横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・商品土地販売が好調であり、今後も積極的に事業展開をしていく。(土地開発・分譲販売業)
- ・人材教育に力を入れると共に、情報収集能力の向上も図る。(不動産管理業)

■西部地区

西部では、不動産業が 11.3 ポイント (9.1 → 20.4)、製造業が 7.4 ポイント (▲4.3 → 3.1) と改善しプラスとなったほか、サービス業がやや改善 (▲10.2 → ▲6.1) したものの、その他業種はいずれも悪化 (建設業 15.9 → ▲12.5、小売業 ▲16.4 → ▲26.4、卸売業 ▲7.3 → ▲11.3) したことから、全産業ベースの業況 DI は前回調査時の ▲2.9 から ▲3.0 へと横ばいとなった。

製造業

業況は、売上、収益とも増加傾向にあり、改善し業況 DI はプラス化した。

今後の見通しとしては、業況 DI のプラス幅は縮小するもののプラスを維持する見込みとなっている。

(事業者の声)

- ・大手自動車メーカーの増産により受注増となっている。(自動車)
- ・工作機械、専用機の業界動向は良好である。(機械)
- ・主要先からの受注が安定しないため、資金繰りに苦慮している。(金属製品)

卸売業

業況は、仕入価格の上昇、販売価格の低下により悪化した。

今後の見通しとしては、更なる仕入価格の上昇により悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大手のオリジナル商品等は問屋を介せずに流通する傾向が業界全体に見られ、状況は厳しくなりつつある。(菓子)
- ・しらす漁が繁忙期、昨年と比べて漁は好調である。(しらす)

小売業

業況は、売上、収益とも減少傾向にあり悪化した。

今後の見通しとしては、悪化水準は高く横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・良くも悪くもない状況であるが、後継者がいない為、設備投資は考えておらず現状維持に努めている。(ガソリン販売)
- ・夏以降多くのモデルチェンジがあるため、売上増加を期待している。(自動車)

サービス業

業況は、材料価格の上昇はあるものの、売上が増加しており、やや改善した。

今後の見通しとしては、人手不足感が高くやや悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大河ドラマの効果により、個人客を中心に宿泊者が増加している。(ホテル)
- ・美容院は、増加傾向であり顧客の取りあいになっているため固定客の確保に向けてサービスの向上に努めている。(美容院)

建設業

業況は、材料価格の上昇、公共工事受注の反動減もあって、大幅に悪化し業況 DI はマイナス化した。

今後の見通しとしては、若干の改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・オリンピックまで業界の見通しは明るい。
- ・公共工事の入札形態が変化し戸惑いを感じている。

不動産業

業況は、売上、収益ともに増加し業況DI もプラス幅を増加するなど、大幅に改善した。

今後の見通しとしては、業況DI のプラス幅は縮小するもののプラスを維持する見込みとなっている。

(事業者の声)

- ・金利の低下にともない不動産業界は活発である。
- ・アパート経営で入居率も安定推移し大きな変化は無い。(貸家業)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話 : 054-255-5530

1. 業況(全業種)

	今回調査(2017年4～6月期)						前回調査(2017年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.4%	15.2%	46.1%	28.2%	9.1%	▲ 20.7	3.0%	14.9%	45.3%	27.6%	9.1%	▲ 18.8
中部地区	5.4%	24.5%	37.4%	24.5%	8.2%	▲ 2.7	4.9%	22.2%	35.4%	27.8%	9.7%	▲ 10.4
西部地区	2.4%	20.3%	51.5%	21.2%	4.5%	▲ 3.0	3.2%	19.5%	51.8%	21.2%	4.4%	▲ 2.9
県内合計	2.5%	19.2%	48.1%	23.8%	6.4%	▲ 8.5	3.3%	18.4%	47.8%	24.0%	6.5%	▲ 8.7

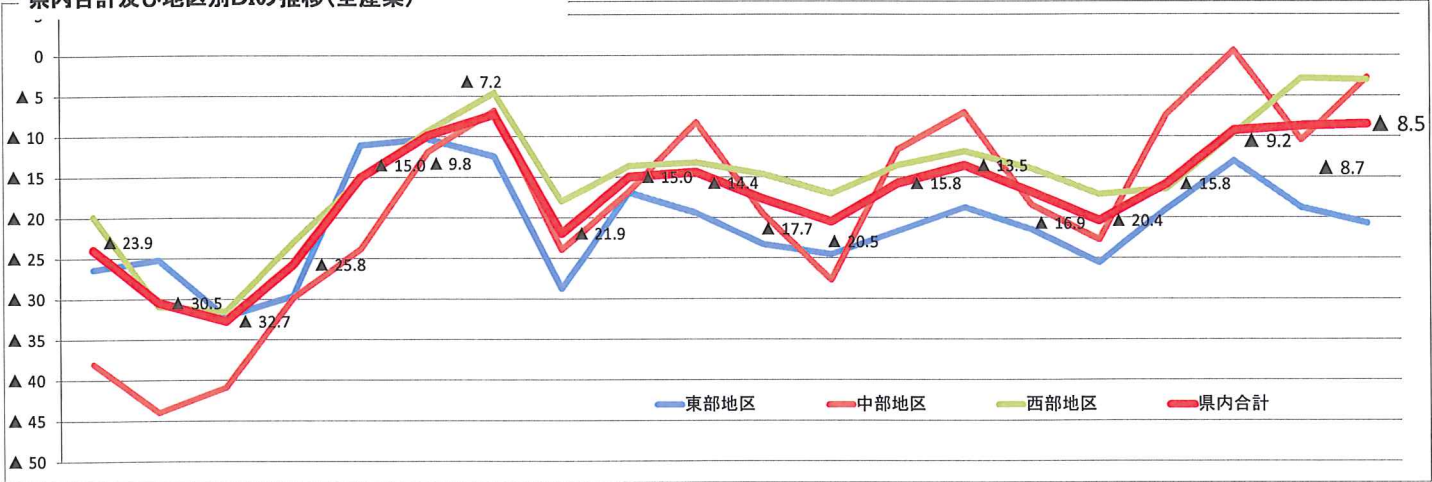
2. 業況予想(全業種)

	2017年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.7%	15.8%	53.5%	21.9%	7.2%	▲ 11.6
中部地区	4.8%	19.0%	51.0%	19.0%	6.1%	▲ 1.4
西部地区	2.3%	18.2%	53.7%	22.9%	2.9%	▲ 5.3
県内合計	2.4%	17.6%	53.3%	22.1%	4.6%	▲ 6.8

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2012年 10～12月期	2013年 1～3月期	2013年 4～6月期	2013年 7～9月期	2013年 10～12月期	2014年 1～3月期	2014年 4～6月期	2014年 7～9月期	2014年 10～12月期	2015年 1～3月期	2015年 4～6月期	2015年 7～9月期	2015年 10～12月期	2016年 1～3月期	2016年 4～6月期	2016年 7～9月期	2016年 10～12月期	2017年 1～3月期	2017年 4～6月期
東部地区	▲ 25.2	▲ 32.1	▲ 29.6	▲ 11.1	▲ 10.3	▲ 12.4	▲ 28.7	▲ 16.9	▲ 19.4	▲ 23.3	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7
中部地区	▲ 44.0	▲ 40.9	▲ 29.9	▲ 23.8	▲ 11.9	▲ 6.8	▲ 23.9	▲ 16.8	▲ 8.2	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7
西部地区	▲ 30.9	▲ 31.6	▲ 23.0	▲ 15.2	▲ 9.3	▲ 4.6	▲ 18.0	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 14.7	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0
県内合計	▲ 30.5	▲ 32.7	▲ 25.8	▲ 15.0	▲ 9.8	▲ 7.2	▲ 21.9	▲ 15.0	▲ 14.4	▲ 17.7	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2
・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2017年4～6月期)						前回調査(2017年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.0%	15.8%	52.5%	23.8%	5.9%	▲ 11.9	5.9%	18.6%	46.1%	20.6%	8.8%	▲ 4.9
卸売業	0.0%	25.8%	22.6%	51.6%	0.0%	▲ 25.8	0.0%	12.9%	41.9%	38.7%	6.5%	▲ 32.3
小売業	1.2%	11.6%	40.7%	29.1%	17.4%	▲ 33.7	1.1%	13.8%	33.3%	33.3%	18.4%	▲ 36.8
サービス業	1.9%	13.0%	38.9%	33.3%	13.0%	▲ 31.5	3.8%	18.9%	43.4%	30.2%	3.8%	▲ 11.3
建設業	0.0%	10.5%	61.4%	22.8%	5.3%	▲ 17.5	3.5%	14.0%	54.4%	22.8%	5.3%	▲ 10.5
不動産業	3.0%	24.2%	48.5%	18.2%	6.1%	3.0	0.0%	3.1%	65.6%	28.1%	3.1%	▲ 28.1
全業種	1.4%	15.2%	46.1%	28.2%	9.1%	▲ 20.7	3.0%	14.9%	45.3%	27.6%	9.1%	▲ 18.8

2. 中部地区

	今回調査(2017年4～6月期)						前回調査(2017年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	8.5%	30.5%	33.9%	18.6%	8.5%	11.9	5.3%	28.1%	24.6%	31.6%	10.5%	▲ 8.8
卸売業	0.0%	28.6%	33.3%	28.6%	9.5%	▲ 9.5	0.0%	11.1%	50.0%	33.3%	5.6%	▲ 27.8
小売業	0.0%	20.0%	45.0%	20.0%	15.0%	▲ 15.0	5.3%	10.5%	42.1%	21.1%	21.1%	▲ 26.3
サービス業	0.0%	17.6%	52.9%	29.4%	0.0%	▲ 11.8	10.0%	25.0%	30.0%	35.0%	0.0%	0.0
建設業	0.0%	15.0%	35.0%	40.0%	10.0%	▲ 35.0	0.0%	22.7%	40.9%	22.7%	13.6%	▲ 13.6
不動産業	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%	30.0	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	37.5
全業種	5.4%	24.5%	37.4%	24.5%	8.2%	▲ 2.7	4.9%	22.2%	35.4%	27.8%	9.7%	▲ 10.4

3. 西部地区

	今回調査(2017年4～6月期)						前回調査(2017年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.1%	24.0%	48.9%	19.7%	4.3%	3.1	4.6%	19.1%	48.3%	23.1%	4.9%	▲ 4.3
卸売業	1.3%	16.3%	53.8%	20.0%	8.8%	▲ 11.3	2.4%	14.6%	58.5%	15.9%	8.5%	▲ 7.3
小売業	1.4%	13.9%	43.1%	33.3%	8.3%	▲ 26.4	0.0%	19.2%	45.2%	30.1%	5.5%	▲ 16.4
サービス業	0.0%	10.2%	73.5%	14.3%	2.0%	▲ 6.1	2.0%	12.2%	61.2%	22.4%	2.0%	▲ 10.2
建設業	1.3%	16.3%	52.5%	27.5%	2.5%	▲ 12.5	3.7%	29.3%	50.0%	15.9%	1.2%	15.9
不動産業	5.6%	27.8%	53.7%	13.0%	0.0%	20.4	0.0%	21.8%	65.5%	12.7%	0.0%	9.1
全業種	2.4%	20.3%	51.5%	21.2%	4.5%	▲ 3.0	3.2%	19.5%	51.8%	21.2%	4.4%	▲ 2.9

4. 県内合計

	今回調査(2017年4～6月期)						前回調査(2017年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.5%	23.1%	47.8%	20.4%	5.2%	1.0	5.0%	20.0%	45.0%	23.6%	6.4%	▲ 5.0
卸売業	0.8%	20.5%	43.2%	28.8%	6.8%	▲ 14.4	1.5%	13.7%	53.4%	23.7%	7.6%	▲ 16.0
小売業	1.1%	13.5%	42.1%	29.8%	13.5%	▲ 28.7	1.1%	15.6%	39.1%	30.7%	13.4%	▲ 27.4
サービス業	0.8%	12.5%	55.0%	25.0%	6.7%	▲ 18.3	4.1%	17.2%	48.4%	27.9%	2.5%	▲ 9.0
建設業	0.6%	14.0%	53.5%	27.4%	4.5%	▲ 17.2	3.1%	23.0%	50.3%	19.3%	4.3%	2.5
不動産業	7.2%	25.8%	49.5%	15.5%	2.1%	15.5	1.1%	15.8%	65.3%	16.8%	1.1%	▲ 1.1
全業種	2.5%	19.2%	48.1%	23.8%	6.4%	▲ 8.5	3.3%	18.4%	47.8%	24.0%	6.5%	▲ 8.7

資料 3
・業種別予想

1. 東部地区

	2017年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.0%	18.8%	58.4%	16.8%	4.0%	▲ 0.0
卸売業	0.0%	12.9%	41.9%	41.9%	3.2%	▲ 32.3
小売業	1.2%	11.6%	46.5%	23.3%	17.4%	▲ 27.9
サービス業	3.7%	11.1%	55.6%	22.2%	7.4%	▲ 14.8
建設業	0.0%	19.6%	64.3%	14.3%	1.8%	3.6
不動産業	3.0%	21.2%	45.5%	27.3%	3.0%	▲ 6.1
全業種	1.7%	15.8%	53.5%	21.9%	7.2%	▲ 11.6

2. 中部地区

	2017年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.1%	27.1%	45.8%	16.9%	5.1%	10.2
卸売業	0.0%	19.0%	71.4%	4.8%	4.8%	9.5
小売業	0.0%	10.0%	50.0%	25.0%	15.0%	▲ 30.0
サービス業	0.0%	17.6%	52.9%	29.4%	0.0%	▲ 11.8
建設業	5.0%	10.0%	50.0%	30.0%	5.0%	▲ 20.0
不動産業	30.0%	10.0%	40.0%	10.0%	10.0%	20.0
全業種	4.8%	19.0%	51.0%	19.0%	6.1%	▲ 1.4

3. 西部地区

	2017年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.1%	21.9%	51.9%	21.0%	2.2%	1.9
卸売業	1.3%	15.0%	51.3%	28.8%	3.8%	▲ 16.3
小売業	1.4%	9.6%	52.1%	31.5%	5.5%	▲ 26.0
サービス業	2.0%	14.3%	57.1%	24.5%	2.0%	▲ 10.2
建設業	0.0%	16.5%	58.2%	20.3%	5.1%	▲ 8.9
不動産業	3.7%	18.5%	61.1%	16.7%	0.0%	5.6
全業種	2.3%	18.2%	53.7%	22.9%	2.9%	▲ 5.3

4. 県内合計

	2017年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.1%	21.9%	52.5%	19.6%	2.9%	2.5
卸売業	0.8%	15.2%	52.3%	28.0%	3.8%	▲ 15.9
小売業	1.1%	10.6%	49.2%	26.8%	12.3%	▲ 27.4
サービス業	2.5%	13.3%	55.8%	24.2%	4.2%	▲ 12.5
建設業	0.6%	16.8%	59.4%	19.4%	3.9%	▲ 5.8
不動産業	6.2%	18.6%	53.6%	19.6%	2.1%	3.1
全業種	2.4%	17.6%	53.3%	22.1%	4.6%	▲ 6.8